SAFETY JOGGER
PROFESSIONAL



Light

JUNO 01 TLS

JUNO01TLS

TLSクロージャーを採用したファッショナブルなスニーカー

JUNOはKassie安全靴の後継モデルで、軽量デザイン、通気性素材、ヒールのエネルギー吸収性により、カジュアルな外観とプレミアムな快適性を兼ね備えています。JUNOはまた、優れたグリップ力を発揮するラバーアウトソールを備えており、帯電防止効果があり、30℃で洗濯が可能です。

アッパー	3D-メッシュ
裏地	リサイクルメッシュ
インソール	SJリサイクルフォームインソール（96%リサイクル素材）
ランニングソール	ファイロン/ラバー
カテゴリー	01 / SR, FO
サイズ範囲	EU 35-48 / UK 3.0-13.0 / US 3.0-13.5 JPN 21.5-31.5 / KOR 230-315
サンプル重量	0.260 kg
規範	ASTM F2892:2018 EN ISO 20347:2022(Europe)

CO2 4.17 kg



DGR



BLK



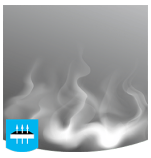
BLU



WHT



TLS（ツイストロックシステム）
Safety Joggerの革新的なTLSクロージャーは、安全手袋を着用していても、どんな状況でも、片手で素早く安全靴を締めたり緩めたりすることができます。TLSは、素早く、安全かつ簡単に精密なフィットを実現し、快適性を高め、最高のパフォーマンスを発揮することを可能にします。



通気性の良いアッパー
湿度・温度管理を強化し、快適な着心地を実現しました。



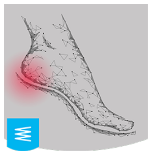
オキシグリップ / SJグリップ
Oxytraction®テクノロジー搭載のラバーアウトソールは、乾いた床でも濡れた床でも優れたトラクションを発揮し、SRC（SRA+SRB）規格に適合しています。



SRC滑り抵抗
耐滑靴底は、安全靴や作業靴の最も重要な機能の1つです。SRCの耐滑靴底は、SRAとSRBの両方の耐滑試験に合格しており、鉄とセラミックの両方の表面で試験されています。



3Dメッシュ
立体的に生成されたディスタンスメッシュにより、湿度と温度管理を強化。



ヒールエネルギー吸収
ヒールのエネルギー吸収により、ジャンプやランニングが着用者の身体に与える衝撃を軽減します。

産業分野:
ケータリング, 食品・飲料, メディカル, ユニフォーム

エンバイロメント:
ドライ環境, 極端に滑りやすい路面

メンテナンス方法:
靴を長持ちさせるために、定期的にクリーニングし、適切な製品で保護することをお勧めします。靴を暖房器具の上や熱源の近くで乾かさないでください。

試験結果:

	商品説明	EN ISO 20347	結果	測定単位
アッパー	**3D-メッシュ**			
	上段：水蒸気透過性	≥ 0.8	25.3	mg/㎠ /h
	上段：水蒸気係数	≥ 15	204	mg/㎠
裏地	**リサイクルメッシュ**			
	裏地：水蒸気透過性	≥ 2	21.1	mg/㎠ /h
	裏地：水蒸気係数	≥ 20	169	mg/㎠
インソール	**SJ リサイクルフォームインソール (96%リサイクル素材)**			
	フットベッド：耐摩耗性（ドライ / ウェット）（サイクル）	25600/12800	25600/12800	しゅうき
ランニングソール	**ファイロン/ラバー**			
	アウトソールの耐摩耗性（ボリュームロス）	≤ 150	90	㎣
	アウトソール滑り抵抗 SRA：ヒール	≥ 0.28	0.42	フリクション
	アウトソール滑り抵抗 SRA：フラット	≥ 0.32	0.41	フリクション
	アウトソール滑り止め SRB：ヒール	≥ 0.13	0.18	フリクション
	ランニングソールの耐滑性 SRB：フラット	≥ 0.18	0.23	フリクション
	帯電防止値	0.1 - 1000	30.5	メガオーム
	ESD値	0.1 - 100	N/A	メガオーム
	ヒールエネルギー吸収	≥ 20	30	J

サンプル数: 38

当社の靴は常に進化しており、上記の技術データは変更される可能性があります。すべての製品名とブランド名Safety Jogger は登録されており、当社の書面による同意なしに、いかなる形式でも使用または複製することはできません。

エコロジカル・フットプリント:

	商品説明	結果	測定単位
CO#排出量			
	素材	1.91	kg
	包装	0.10	kg
	生産	1.90	kg
	輸送	0.26	kg
		4.17 kg CO2 / ペア	

	商品説明	結果
リサイクル素材の割合		
	Product	17%
	包装	99%

CO2の算出:
数値は小数点以下2桁で四捨五入されます。
これらの分析は、コルティナ・グループ内で開発された独自の環境計算ツールを使用して行われます。CO2値は計算時点でのものであり、変更される可能性があります。